

『ひとり旅日和[3]』

秋川 滝美／著 KADOKAWA (分類:Fア)

人見知りの日和はひとり旅を始めてから自信がつき、仕事も恋も充実してきた。ある日、秋田でひとり暮らしをする叔母の体調が悪いと聞き、様子を見に行くことにしたが…。



『吾妻おもかげ』

梶 よう子／著 KADOKAWA (分類:Fカ)

絵師を志すも挫折を味わい、吉原と芝居小屋に入り浸る菱川吉兵衛。だが、つらい憂き世をあえて楽しもうとする遊女たちの心意気に励まされ…。最初の浮世絵師・菱川師宣の波瀾万丈の生涯を描く。『小説野性時代』掲載を書籍化。



『ロミオとジュリエットと三人の魔女』

門井 慶喜／著 講談社 (分類:Fカ)

1588年、小さな島国イリリアにたどり着いた青年シェイクスピアは、ヴェローナからやってきた美男美女カップルに出会う。だがカップルの間には不穏な空気が流れ…。シェイクスピア劇のオールスターキャストによる喜劇小説。



『R. I. P.』

久坂部 羊／著 講談社 (分類:Fク)

優しかった兄が、3人もの自殺志願者を殺めた。連続凶悪事件を犯した兄・真也が語り始める不可解な動機を解き明かそうと、妹の薫子は奔走するが、一線を越えてしまった真也の「知らなかった一面」に衝撃を受け…。



『黄金の刻(とき)』

楡 周平／著 集英社 (分類:Fニ)

明治7年。服部金太郎は丁稚として働いていた。金太郎は高価ゆえに持つ人の限られていた「時計」に目をつけ、いずれは時計商になりたいという熱い想いを抱き…。「セイコー」創業者の一代記。『小説すばる』連載を単行本化。



『探偵少女アリサの事件簿[3]』 東川 篤哉／著 幻冬舎 (分類:Fヒ)

「なんでも屋タチバナ」を始めた橘良太は、名探偵一家の娘・有紗のお守役。有紗は幼いながら名探偵気取りで、数々の難事件を解決してきた。ある日、良太が密室殺人に遭遇してしまい…。『小説幻冬』連載を加筆・修正。



『にっこり、洋食』 江國 香織／[ほか]著 河出書房新社 (分類:914ニ)

オムライス、ナポリタン、ビーフシチュー、カツレツ…。家庭の味から町の名店まで、「洋食」にまつわる森茉莉、平松洋子、池波正太郎、谷崎潤一郎ら 32 人のエッセイを収録する。



『交通事故が労災だったときに知っておきたい保険の仕組みと対応』

後藤 宏／共著 日本法令 (分類:364コ)

交通事故にかかる労災保険の実務に対応できるよう、損害賠償についての基本的な事項を整理し、労災保険と自賠責保険との関係をわかりやすく解説。障害年金(国民年金・厚生年金)の制度にも触れる。各種規程や書式例も収録。



『「ふつうの家族」にさようなら』

山口 真由／著 KADOKAWA (分類:367ヤ)

ふつうの家族ってなんなんだ? そもそも家族ってなんなんだ?ふつうの家族なる価値に寄っかかってきた安易な自分にさようなら。代わりに「ふつうの家族解体新書」を試みよう-。家族法研究者が、家族の本質を明かす。

